

## 新年度にあたって、

一羊館の理念、行動指針、話し合い3原則、目標の再確認

### 老人保健施設一羊館の理念

利用者の方々にすべてに尊厳・安心・満足を！

### 一羊館の行動指針

私たちは、保健・医療・福祉の架け橋のプロに徹します。

私たちは、利用者のQOL・職員のQOL・健全経営の3立を目指します。

私たちは、質向上のために日々の小さな工夫を忘れません。

話し合いの3原則：

- ①相手の意見は否定しないでしっかり聞きます。
- ②自分の意見はしっかり言う。ポジティブ表現で言います。
- ③正解は一つでないことを自覚して自制します。



(目標)

- 1：社会貢献（地域貢献）として、介護難民（介護の難しい方）を引き受ける。
- 2：介護難民の引き受けには、相当のレベル（「超強化型」）が必要であり、レベルの向上を目指す（個人として、組織として）。

実際に、例として、

- ・経管栄養や尿道カテーテル留置の方が、それらから解放され、自力で食事摂取できるようになる。
- ・入所時不穏を示していた方が、落ち着いて生活やリハビリをするようになる。
- ・関節痛のあった方が、リハビリなどで疼痛が軽減する。
- ・糖尿病の方が、血糖のコントロールが良くなり、治療薬の減量や不要になる。

最後に、

4月から介護職員4名の方が新しいメンバーとして加わっていただきました。最初は覚えることが多く大変だと思います。しかし、少し慣れましたら、喀痰吸引など学べるものは食欲に学んでください。教える方も大変かもしれませんが、教えることがスキルアップになりますし、一羊館全体のレベルアップになります。よろしくお願い致します。